

2014揖斐川第二出張所の『5大ニュース発表！』

職員のアンケートから選出

- 揖斐川第二出張所は、今年一年の締めくくりとして職員を対象としてアンケートを行い、得票数の多い上位5件を「5大ニュース」として選定しました。

「10年ぶり出動水位超える！」 台風11号で揖斐川増水

- 8月9日から10日にかけて、岐阜県山間部を中心に非常に激しい降雨をもたらした台風11号は、揖斐川で10年ぶりに出動水位を超え、戦後12番目の高水位を記録。この時、上流の横山ダム・徳山ダムが防災操作にあたり、下流域の水位低下に大きな効果を発揮しました。

揖斐川第二出張所は、堤防や流水の状況、及び、河川管理施設などの状況を把握するため、職員及び委託業者による出水時巡視を行い、異常がないかを速やかに確認しました。



「先人の足跡たどり、治水の想い継承へ！」 揖斐川治水フォーラム

- 明治期に私財を投げうち、流域の治山治水に尽力した二人（金森吉次郎、金原明善）の功績者の足跡をたどり、今後の揖斐川の治水を考えるフォーラムを10月7日、地元新聞社と連携し開催しました。

会場では、「50年前の揖斐川、人々の暮らし」をテーマに、大垣市在住の輪中写真家・河合孝氏が約50年前から撮影してきた輪中の暮らしに関連した写真20点も展示し、治水事業の必要性を学びました。



ヤギとの触れ合いイベント 地元園児が「メェ〜メェ〜（命名）」

- 揖斐川左岸堤防に近い約1千平方メートルの国有地において、ヤギ除草に取り組み、その一環で、地元の仁木保育園の年長園児34名を現地に招きました。

園児たちは、クイズを通して働くヤギの話を聞いたり、ヤギに草を与えながら、ヤギとの触れ合いを楽しみ、また、園児が挙げた名前の候補から多数決を取り、子ヤギの名前も命名していただきました。



地域を安全に！ 「揖斐川・杭瀬川16キロ区間の堤防整備へ」

- 局地的豪雨等により、全国的に風水害が多発する中、整備が遅れている揖斐川・杭瀬川堤防の補強工事について、約16キロ区間（施行中含む）を整備し進捗を図りました。

揖斐川第二出張所は、工事施工業者の方々と連携し、労災事故防止の徹底、周辺地域への騒音・振動の軽減や交通規制の解消など配慮しながら、無事故で工事を進めることができました。



住民の悲願実現！ 福束排水機場ポンプ増設工事、完成式で祝う

- 平成23年11月に策定した「大樽川総合内水対策計画」に基づき整備してきた福束排水機場のポンプ増設工事が完成した3月15日、地元国会議員や県議会議員、輪之内町長ら関係者約30名が出席し、盛大に完成式典が行われました。

これまで、洪水時に毎秒約18トンであった排水量が、今回工事でポンプ1台を増設し、排水量は毎秒26トンと約1.5倍に引き上げられました。

